

管 理 の 概 要

1 公益財団法人 光市文化振興財団

(1) 理事会

ア 第1回定時理事会

日 時 平成29年5月11日(木) 10時00分～11時27分
場 所 光市文化センター 研修会議室
議 事 平成28年度事業報告及び計算書類の承認、監査報告
定時評議員会の日時及び場所ならびに目的である事項

イ 第1回臨時理事会

日 時 平成29年6月7日(水) 9時00分～9時20分
場 所 光市文化センター 研修会議室
議 事 理事長及び常務理事の選定について

ウ 第2回臨時理事会

日 時 平成29年11月22日(水) 9時30分～10時10分
場 所 光市文化センター 研修会議室
議 事 平成29年度収支補正予算について

エ 第2回定時理事会

日 時 平成30年3月16日(金) 13時30分～14時55分
場 所 光市文化センター 研修会議室
議 事 平成30年度事業計画及び予算の承認
定款第26条第4項に定める報告

オ 定款36条に規定する決議の省略の理事会決議

決議事項 事務局長の解任、選任
決議があったとみなされた日、平成30年3月29日

(2) 評議員会

ア 定時評議員会

日 時 平成29年5月26日(金) 13時30分～14時45分
場 所 光市文化センター 研修会議室
議 事 平成28年度事業報告
平成28年度計算書類及び財産目録の承認
評議員の選任について
役員を選任について

(3) 評議員、役員

平成30年3月31日現在

役職名	氏名	役職・所属等
評議員	南 秀 男	光文化協会会長
〃	有 澤 久	光商工会議所副会頭
〃	矢 野 浩	学識経験者
〃	村 中 民 義	光市コミュニティ連絡協議会
〃	田 中 道 治	光市青少年健全育成市民会議常任副委員長
〃	荒 瀬 浩 一	光市小中学校校長会（附属光中副校長）
〃	見 村 美 津 子	光市連合婦人会副会長
〃	三 名 木 啓 吾	一般社団法人光青年会議所前理事長
〃	寒 川 哲 男	新日鐵住金ステンレス(株)光製造所前総務室長
〃	田 原 秀 夫	武田薬品工業(株)光工場光オフィス前主席部員
〃	齋 藤 ま ゆ み	光市文化財審議会副会長
〃	兼 清 健 吾	ミュージックキャラバン代表
〃	藤 本 満 俊	陶芸家
〃	上 村 正	光地方史研究会副会長
〃	森 重 正 一	光市副市長
〃	能 美 龍 文	光市教育委員会教育長
理 事 長	津 村 秀 雄	
理 事	坪 井 玲 子	書家
〃	兼 清 昌 子	光人形劇協議会会長
〃	吉 村 博 子	光ふるさと郷土館懇話会委員
〃	小 田 哲 之	光市総務部長
〃	蔵 下 敏 幸	光市教育委員会教育部長
〃	梅 田 博 文	光市民ホール館長
〃	貞 廣 繁	光ふるさと郷土館館長
常 務 理 事	丸 岡 敦 雄	事務局長 文化センター館長事務取扱
監 事	山 本 武 男	税理士
〃	末 延 勇 雄	

※当期中の役員の変更

評議員 岡村 忠雄 → 有澤 久

理 事 中村 智行 → 小田 哲之

2 施設の概要

(1) 光市文化センター

所在地 〒743-0011 山口県光市光井九丁目18番2号

電話 0833-72-5800 FAX 0833-72-5715

敷地面積 9,500㎡

建築面積 856.78㎡

延床面積 1,888.42㎡

構造 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階

駐車場 乗用車106台

主な床面積

企画展示室	204㎡	研修会議室	90㎡
-------	------	-------	-----

歴史民俗展示室	329㎡	ロビー	155㎡
---------	------	-----	------

美術展示室	204㎡	収蔵庫	163㎡
-------	------	-----	------

(2) 光市民ホール

所在地 〒743-0063 山口県光市島田四丁目13番15号

電話 0833-72-1441 FAX 0833-71-3555

敷地面積 14,944,070㎡

建築面積 4,151,874㎡

延床面積 5,256,925㎡

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨トラス造 地下1階地上2階

駐車場 乗用車150台 バス10台

施設のあらまし

大ホール 客席＝固定席886席／車イス席5席
舞台＝間口18m／奥行14m／高さ8m
楽屋＝①19㎡ ②21㎡ ③35㎡ (2階)

小ホール 客席＝固定席326席／車イス席4席
舞台＝間口11m／奥行6m／高さ4.5m
楽屋＝④18㎡ ⑤14㎡ (2階)

ロビー 225.3㎡ (16m×14m)

会議室 中会議室 135.0㎡ (9m×15m)

小会議室① 41.4㎡ (9m×4.6m)

小会議室② 36.0㎡ (9m×4m)

和室 32畳

(3) 光ふるさと郷土館

所在地 〒743-0007 山口県光市室積五丁目6番5号

電話 0833-78-2323 (FAX兼用)

敷地面積 3,500㎡ (本館 2,744.5㎡ 別館 755.5㎡)

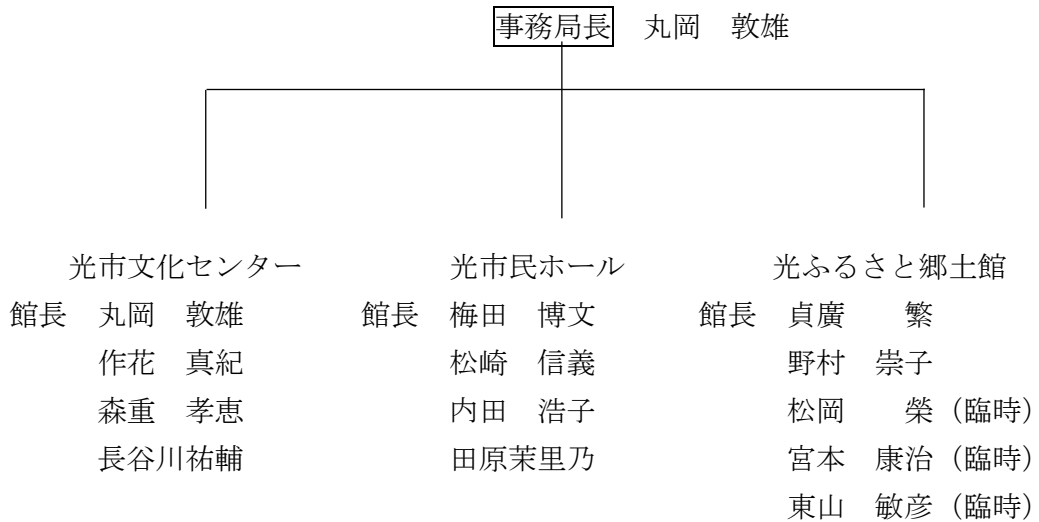
建築面積 1,024.65㎡ (本館 763.98㎡ 別館 269.67㎡)
 延床面積 1,068㎡ (本館 943.67㎡ 別館 124.33㎡)
 構造 木造平屋一部2階 (本館、別館共)
 駐車場 乗用車25台 バス3台

主な床面積

本館		別館	
玄関ロビー	40.00㎡	玄関(1)	20.0㎡
休憩室	22.00㎡	応接間	12.0㎡
案内所	14.00㎡	玄関(2)	20.0㎡
帳場	16.50㎡	仏間・居間	20.0㎡
第2展示室(奥座敷)	36.00㎡	座敷	23.7㎡
ギャラリー	47.40㎡	茶室	23.0㎡
醤油製造場	33.30㎡	その他	142.0㎡
漁業展示室	16.50㎡		
工房	31.50㎡		
第6展示室	123.20㎡		
その他	383.35㎡		

※別館については平成29年9月18日で閉館

3 事務局の組織及び職員



4 入館者、利用状況

(1) 文化センター

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館日数	279	279	282	281	279
入館者数	20,307	25,503	19,057	19,652	16,453
平均入館者数	72.8	91.4	67.6	69.9	59.0

(2) 市民ホール

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大ホール	件数	59	51	61	53	62
	日数	95	91	96	95	108
	入館者数	35,560	37,423	39,402	35,217	38,368
小ホール	件数	99	105	132	118	104
	日数	133	143	178	168	153
	入館者数	15,886	16,585	17,729	14,941	13,118
ロビー	件数	4	7	9	7	8
	日数	25	51	51	57	68
	入館者数	2,500	1,450	1,860	720	930
会議室	件数	227	246	243	215	219
	日数	322	326	354	340	339
	入館者数	4,539	4,987	5,766	4,584	3,946
和室	件数	9	8	6	11	11
	日数	28	28	31	43	39
	入館者数	322	199	49	317	263
合計 (延べ)	件数	398	417	451	404	404
	日数	603	639	710	703	707
	入館者数	58,807	60,644	64,806	55,779	56,625
開館日数		307	307	308	307	307
平均入館者数		191.6	197.5	210.4	181.7	184.4

(3) ふるさと郷土館

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館日数		297	296	299	296	295
入館者数		6,632	5,817	5,179	7,779	5,438
平均入館者数		22.3	19.7	17.3	26.3	18.4

5 広報紙『虹』の発行

各施設の行事案内やお知らせを中心に、文化情報、資料紹介などを掲載する情報誌『虹』を発行して、情報を発信した。

- (1) 体裁等 A4判 8ページ カラー刷り
- (2) 発行部数 1,150部
- (3) 発行日 偶数月の1日

事業の概要

1 文化センター

(1) 常設展示

ア 歴史民俗展示室

(ア) 歴史部門

光市の古代から昭和20年代まで

懸山古墳箱式石棺、各遺跡出土品、清水宗治関係資料、八海観音堂大般若経、冠天満宮棟札・金銅十一面観世音菩薩坐像懸仏、光海軍工廠史料、明治からの教科書、玉井喜作、回天一型頭部など

(イ) 民俗部門

農耕用具、水車、平駄船模型、商業交易用具、日常生活用具、薬種用具

イ 美術展示室

第68回常設展 所蔵美術品展「光市美術展を支えた人々」

3月11日(土)～7月2日(日)

第69回常設展 夭折の画家「虹石・虹汀」展

7月15日(土)～9月24日(日)

第70回常設展 文化センター絵画貸出事業「レンタルアート」展

11月25日(土)～1月21日(日)

第71回常設展 光市文化センター所蔵「春の秀作展」

2月3日(土)～5月6日(日)

ウ 自然史展示室

小動物、鳥類、昆虫類の標本 貝類標本 虹ヶ浜の昆虫相 化石標本

エ 1階ロビー

重要無形文化財保持者「山本晃」氏作品5点を1箇月毎1点ずつ入れ替え展示

オ 屋外展示

消防用手押ポンプ、丸型郵便ポスト、旧伊藤博文邸レプリカ

(2) 企画展示

ア 第36回濠美会展

会期 4月7日(金)～4月19日(水)

会場 企画展示室

入館者 583人

内容 当館で毎週木曜日に実施している絵画教室の会員の作品を展示し、一年間の学習の成果を発表している。会員24人の油彩画、水彩画、デッサン等112点と講師の作品3点を展示した。

イ 光市作家展

会期 6月10日(土)～7月2日(日)

会 場 企画展示室

入館者 617人

内 容 光市在住、もしくは光市に関わりの深い作家で、文化センターにおいていまだ本格的な発表をされていない方々の作品を紹介している。地方や全国規模の展覧会の舞台で活躍し、作品や人柄を通して周囲に影響を与えている人たちを紹介することで、多くの市民や美術愛好家にその作家の活動について知ってもらい、造形活動の普及発展につなげることを目的としている。第11回目となる今年度は、市美展の委嘱作家である写真の「平原洋子」氏と、同じく委嘱作家である陶芸の「河野勝彦」氏を紹介した。

ウ 兼田文男陶芸展Ⅱ

会 期 7月21日(金)～8月27日(日)

会 場 企画展示室

入館者 668人

内 容 下松市在住で、光市立野出身の兼田文男氏から、平成26年度の10点に続き、平成27年度末に35点が追贈された。これら45点を、改めて市民に広く紹介し同氏の功績をたたえ、市民の陶芸に対する興味関心を喚起し、芸術活動への意欲の増進と底辺の拡大を図った。



エ 第13回 光市美術展(公募展)

会 期 前期：10月24日(火)～10月29日(日)

後期：10月31日(火)～11月5日(日)

会 場 全館

入館者 1,888人

内 容 市民等から広く作品を募集し展示することにより、光市の美術の振興を図るとともに、美術の鑑賞を通して市民文化の向上に寄与することを目的に開催した。



また、大賞受賞作家の更なる活躍と創作支援を目的に大賞受賞作を買上げ、ロビーに常設で展示することにより顕彰する。

主 催 光市・光市教育委員会・光文化協会・公益財団法人光市文化振興財団

出品部門 前期 日本画、洋画、彫刻、書、写真・デザイン

後期 陶芸、金属工芸、染色、和紙ちぎり絵、押花絵、俳

画切り絵、フラワーアレンジメント、生花、その他

応募総数 477点 入賞点数 35点

オ 第10回 文化センター水彩画教室展

会期 12月14日(木)～12月17日(日)

会場 企画展示室

入館者 398人

内容 当館で実施している水彩画教室の会員の作品展。会員29人の作品79点と講師の作品3点を展示し、これからの学習の励みとした。

カ わが家所蔵の美術品展

会期 3月3日(土)～3月25日(日)

会場 企画展示室

入館者 362人

内容 絵画、書、陶磁器、工芸品等、家庭にある愛蔵品や秘蔵品を持ち寄って開催した。市民からの作品53点を展示した。

(3) 教育普及活動

ア 成人大学講座

光市の生涯学習推進の一翼を担っている事業であり、歴史、芸術など幅広い分野で年間7講座を開設した。受講者は延べ254人。年間受講料1,500円。

No	内 容	講 師	開 催 日	参加者
1	江戸時代の科学と技術 —天文・医学・機巧—	萩博物館 主任学芸員 道迫 真吾	5月13日(土)	43人
2	弥生時代山口県域の 鉄器文化	山口大学人文学部 准教授 村田 裕一	6月10日(土)	39人
3	名君毛利敬親と長州藩 幕末維新史	毛利博物館 顧問 小山 良昌	7月8日(土)	43人
4	山田原欽「普賢縁起」 を読む	徳山工業高等専門学校 准教授 谷本 圭司	8月19日(土)	36人
5	高村光太郎の彫刻表現 と文学性	山口大学教育学部 准教授 上原 一明	9月16日(土)	19人
6	清水宗治の旧主三村氏 と「常山」	梅光学院大学文学部 准教授 田口 寛	11月25日(土)	33人
7	古代の島田川流域の人 と文化	柳井市文化財保護審議会 会長 松岡 睦彦	12月16日(土)	41人

イ 絵画教室

昭和56年度から開始した講座で、デッサン、油彩画、水彩画の実技指導を行う。カリキュラムは静物、風景、人物などのほか、版画による年賀状制作も取り入れ

ている。今年度は、透明なガラス平板にアクリル絵具で人物や風景を描き、その裏から鑑賞する「ガラス絵」の制作も試みた。4月には作品展（濤美会展）を開催して、学習の成果を発表する。

実施日 原則として毎週木曜日
今年度 通算37回実施
会員数 22人(年度末現在)
指導者 河村純一郎(洋画家 行動美術協会会員)
年会費 12,000円

ウ 水彩画教室

手軽に始めることのできる水彩画を取り上げ、経験にかかわらず絵を描く楽しさを体験し、技能向上を目指す教室で、12月には会員の作品展を開催した。

実施日 原則として第1・3日曜日
今年度 通算22回実施
会員数 32人(年度末現在)
指導者 岡村 毅(創美会会員)
年会費 6,000円

エ 彫塑教室

立体造形に関する基礎的な知識と創造的技能の修得を目的に実施し、市美展などに発表し普及を図った。工芸など立体分野と連動させ発展させるため、人物像の制作などに取り組んだ。

実施日 原則として第2・4土曜日
今年度 通算25回実施
会員数 16人(年度末現在)
指導者 末廣修実(彫塑作家)
年会費 6,000円

オ 湯呑みづくりの会

講師はボランティアとして指導し、会員が自主的にサークルを形成することによって創作活動を進める会であり、湯呑みや茶碗を制作した。

実施日 原則として第1・3水曜日
今年度 通算24回実施
会員数 15人(年度末現在)
指導者 村山嘉憲(陶芸作家)

カ 夏休み子ども陶芸教室

夏休み期間に、陶芸を体験することにより、もの作りの楽しさや喜びを味わってもらうことを目的に実施した。生活雑器をはじめ人形、置物など子供たちは自由に作品作りを楽しんだ。



開催日 【成 型】 7月22日(土)

【絵付け】 8月5日(土)

会 場 研修会議室

参加者 小学生21人

協力者 湯呑みづくりの会

キ 絵画貸出事業

この事業は絵画を市民に貸与し、家庭や公共の場所へ掲げ鑑賞することによって、ゆとりと潤いのある生活を営んでもらうとともに、自らも絵画を描くなど美術への関心が高まることを目的に、平成10年度から行っている。

今年度は作品を美術展示室に展示し、作品を観てその場で借りることができる「レンタルアート展」を開催し、事業のPRに務めた。

【利用状況】 延べ利用人数16人 延べ貸出点数21点

(4) 施設貸館展覧会

No	名 称	主 催	会 期	日数	入館者数	会 場
1	全日写連光支部展	全日本写真連盟 光支部	5月11日～5月14日	4	463	企画展示室
2	第80回創美展	創美会	5月17日～5月21日	5	621	企画展示室
3	西村沙矢佳パステル画展	西村沙矢佳	5月24日～5月28日	5	292	企画展示室
4	フレンド山口写真展	同展実行委員会	7月7日～7月9日	3	492	企画展示室
5	光市小学校科学作品展	光市教育委員会	9月23日	1	786	企画展示室
6	図書館まつり(幼児画展)	光市立図書館	11月10日～11月12日	3	558	企画展示室 玄関前
7	第80回創美展	創美会	11月15日～11月19日	5	570	企画展示室
8	第19回飛翔展	奥田賢吾 絵画教室	11月30日～12月3日	4	166	企画展示室
9	光市小中学校美術展	光市教育委員会	12月8日～12月10日	3	670	1階全館
10	墨水会かきぞめ作品展	墨水会	1月20日～1月21日	2	1,435	1階全館
11	第46回日本教育書道会書初展	日本教育書道会	1月26日～1月28日	3	821	1階全館 美術展示室
12	第2回光市書道連盟展	光市書道連盟	2月13日～2月18日	6	724	企画展示室
13	いけばな池坊光支部花展	池坊光支部	2月24日～2月25日	2	483	企画展示室

(5) 学校教育への対応

ア 小学生社会科見学

周南市立今宿小学校3年生 10月6日(金) 児童67人

光市立三輪小学校3年生 12月12日(火) 児童22人

イ 中学生職場体験

光市立光井中学校 2 年生 6 月 1 日（木）～6 月 2 日（金） 生徒 1 人

(6) 資料収集活動

ア 主な収集資料

美術資料	兼田文男 陶芸	3 点	移管
〃	大楽家資料	1 0 7 点	寄贈
〃	中村 脩 日本画	3 点	寄贈
〃	難波覃庵 南画	2 点	購入
〃	久芳道信 日本画	1 点	購入
〃	光市美展大賞受賞作品	1 点	購入

イ 平成 2 9 年度末現在の館蔵資料点数

		購 入	寄 贈	寄 託	その他	合 計			
美 術	絵画 版画	168	288	1	22	479	957	14, 295	
	彫刻 工芸	12	148		64	224			
	書	4	48		6	58			
	写 真	0			3	3			
	資 料	3	173		17	193			
人 文	考 古		17	7	280	304	13, 024		
	歴 史	7	3, 889	825	163	4, 884			
	民 俗	3	7, 544	265	24	7, 836			
科 学	自然史系	1	228	1	84	314	314		
	科学技術系					0			
注：収蔵しても、未整理・未登録の資料は含まない。									

ウ 資料の整理

清水家及び難波家文書などの古文書解読作業（活字化）など調査研究事業を、郷土史家の協力を得て実施した。

2 光市民ホール

(1) 公演事業

ア 光市と財団の経費で実施した事業

(ア) 第46回市民夏季大学

市民夏季大学は、昭和47年の市民ホール開館以来の恒例行事として、市民の間に定着している。少子高齢化の進展等、社会環境の変化により、受講年齢層、受講人数等が変化していく中で、多様化する市民の学習ニーズに対応する学習機会を提供するため、各界で活躍している話題性の高い著名人を講師に招き、講師のキャリア、経験や体験談等を直接見聞し、その成果や教訓、幅広い識見からの考え方や含蓄のある人生論等を学ぶ市民教養講座として開催した。

各講座の関係性や連続性を持たせるため、演題及び論点等を総合的に勘案した3講座全体を包括するテーマを設定した。

◎ 会場 大ホール

◎ テーマ 「生きる力」

○ 第1講座

開催日 6月9日(金) 18時30分～20時

講師 杉山 愛(元プロテニスプレーヤー)

演題 「夢を叶える生き方」

受講人数 757人

○ 第2講座

開催日 7月12日(水) 18時30分～20時

講師 夏井 いつき(俳人)

演題 「俳句は脳に効く 一句会ライブ～」

受講人数 972人

○ 第3講座

開催日 7月18日(火) 18時30分～20時

講師 武田 双雲(書道家)

演題 「人生を変える言葉の力、書の力」

受講人数 773人

(イ) NHKラジオ「真打ち競演」公開録音

開催日 5月12日(金) 17時50分～20時

会場 大ホール

出演者 東京ボーイズ、ケーシー高峰、橘圓太郎、チャーリーカンパニー
ペペ櫻井、入船亭扇遊

入場者 733人

内 容 NHK山口放送局、光市、公益財団法人光市文化振興財団の共催で、光市民ホール開館45周年を記念してNHKラジオ「真打ち競演」の公開録音を実施した。

イ 財団と「光の文化を高める会」（以下「文高会」）の経費で実施した事業

(ア) 第2回ストリートダンスフェスティバル

開催日 4月9日(日)

13時30分～16時

会 場 大ホール

出演者 26チーム(256人)

入場者 623人

内 容 昨年度に引き続き、ストリート



ダンスを学ぶ児童や生徒を対象に、日頃の活動や練習の成果などを発表する機会を提供した。

中学校保健体育授業でのダンスの必修化に伴い、ストリートダンスを学ぶ児童や生徒が増加し、市民の関心も高く、チーム数、参加人数、入場者数ともに増加した。ストリートダンスの普及・啓発とともに、青少年の音楽や表現活動の推進、舞台芸術活動の振興を図る目的で開催した。

(イ) スタインウェイピアノ開放事業

『第10回ピアノマラソン みんなで弾こうスタインウェイ!』

開催日 5月20日(土) 9時～21時

会 場 大ホール

出演者 24組

入場者 100人

内 容 初心者から高齢者までの幅広い層を対象に、音楽を愛しピアノに関心のある人が、世界を代表するピアノのひとつ「スタインウェイ」に触れる機会をつくり、世界の名器を使用したステージ演奏の体験の場を提供した。

(ウ) 第2回精華女子高等学校吹奏楽部コンサート

開催日 5月28日(日)

14時～16時

会 場 大ホール

出演者 精華女子高等学校吹奏楽部

入場者 845人

内 容 昨年に引き続き、吹奏楽ファンの



熱烈なリクエストに応じて、高校吹奏楽部の国内最高峰といわれる

精華女子高等学校吹奏楽部（福岡市）を招聘して、ハイレベルの吹奏楽コンサートを開催した。

なお、市内3高校の吹奏楽部と合同演奏も行い、地元高校生の演奏能力の向上、舞台パフォーマンスのレベルアップなどの一助とした。

(エ) 小学校音楽・演劇教室（学校引率）

『MUSIC FROM AFRICA 魂の鼓動』

開催日 6月15日（木） 13時50分～15時5分（1時間15分）

会場 大ホール

出演者 ROHO THEATRE（タンザニアから来日公演）

入場者 957人

内容 次代を担う小学生の情操教育の充実及び芸術文化学習の推進を図るため、市内の小学校5・6年生に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供した。本年度は音楽教室として、ROHO THEATRE（タンザニア）によるコンサートを鑑賞した。

(オ) 「文高会」総会・会員招待公演

『山中信人 津軽三味線コンサート』

開催日 6月18日（日） 14時～16時

会場 大ホール

出演者 山中 信人

入場者 342人

内容 総会後の会員招待公演として、本年度は会員から開催要望の多い津軽三味線の演奏会とし、2016年津軽三味線世界大会で優勝した山中信人氏を招聘しての津軽三味線コンサートを実施した。

(カ) 「文高会」サマーコンサート

『つるの剛士 アコースティックコンサート

～つるのうた名曲集日本全国翔鶴ツアーin光市～』

開催日 8月6日（日） 16時～18時

会場 大ホール

出演者 つるの剛士

入場者 740人

内容 人気クイズ番組への出演を機に大ブレイクを果たし、俳優としての活動のみならず歌手としての魅力を発揮しており、当日は軽妙なトークと圧巻の歌唱力を披露し、老若男女問わず多くの観客を魅了した。

(キ) 桂小春團治独演会

開催日 9月21日（木） 18時30分～

会 場 大ホール特設ステージ
出演者 桂 小春團治・桂 福矢・桂 治門
入場者 103人
内 容 我が国の代表的な古典芸能の一つである落語の鑑賞会を、光がんざき亭との共催で開催した。桂小春團治師匠の巧みな話芸はもちろん、所作や動作など落語の素晴らしさ、面白さを鑑賞できる機会となった。

(ク) 第32回市民コンサート

開催日 10月15日(日) 13時～
会 場 大ホール
出演者 12組
入場者 600人
内 容 今年度は、9月の開催予定が台風のため10月に延期されたが、例年と変わらず、音楽を愛する個人や団体が一堂に会して、日ごろの活動や練習の成果を発表することにより、互いの技量の向上を図るとともに、市民に優れた音楽の鑑賞機会を提供した。出演する児童・生徒には、今後の活躍と飛躍を期す機会として開催した。

(ケ) うたごえ喫茶

開催日 11月26日(日) 14時～
会 場 大ホールステージ
入場者 112人
内 容 昨年度、5年ぶりに開催した「うたごえ喫茶」は、「文高会」会員の圧倒的割合を占める中高年層から再度の開催を求める要望が多く寄せられたため、今回も、大ホールステージに反響板を設置して開催した。ミュージックキャラバンの伴奏により、参加者が思う存分気分良く歌える「うたごえ喫茶」として好評であった。

(コ) 「文高会」ウインターコンサート

『サーカスコンサート2017 ～POP STEP ひかり～』

開催日 12月9日(土) 15時～
会 場 大ホール
主演者 サーカス、庄野真代、浅江・島田中学校生徒
入場者 589人
内 容 洗練されたコーラス、都会的なサウンド作りで人気のあるコーラスグループ「サーカス」と飛んでイスタンブールなどのヒットで知られる「庄野真代」とのスペシャルライブステージを開催した。
また、浅江中学校、島田中学校の合唱グループも出演し、プロ歌手と一緒にコーラスを披露した

(サ) 優秀映画鑑賞会「第3回光市民ホール名画劇場」

開催日 2月3日(土)・4日(日) ※1日3回の上映

会場 小ホール

入場者 235人

上映映画 わが青春に悔いなし、酔いどれ天使、羅生門、用心棒

内容 優れた映画の鑑賞機会を提供するため、文化庁及び独立行政法人東京国立美術館フィルムセンターにより実施される優秀映画鑑賞推進事業を誘致し、広く市民を対象にした廉価な入場料による映画鑑賞会を開催した。

本年度は、人間の善と悪、生と老を、大胆な構成と躍動感あふれる演出で描き続け、世界中の映画人と観客を魅了した黒澤明監督の作品4本を上映した。

(シ) 第5回アラ還フェスティバルin光

開催日 3月4日(日) 13時～

会場 大ホール

出演者 9組のバンド

入場者 390人

内容 市内及び周辺地域において、

概ね還暦(60歳)前後の年齢層で構成する音楽愛好グループやミュージックバンドに演奏の場を提供した。

音楽・演奏活動を展開するグループ等を支援することにより、市民レベルの文化活動の振興、音楽活動の推進、市民文化の向上などを図った。



(ス) 柳田理科雄サイエンスショー

『～アニメ・漫画で笑って学べるサイエンス～』

開催日 3月25日(日) 14時～

会場 大ホール

出演者 柳田理科雄

入場者 668人

内容 小学生や親子、ファミリー等の入場者に対し、実際に行われる実験ショーを通して理科(科学)の面白さや楽しさを知ってもらうことで、次代を担う子ども達に科学的な見方、考え方に興味を持ってもらうことを目的に開催した。

(2) 施設貸館事業(主な貸館内容)

ア 諸団体による芸術文化活動

◎光風流吟道大会

4月16日(日)

◎剣詩舞コンクール山口県大会	5月 7日(日)
◎第24回人形劇フェスティバル	6月25日(日)
◎島田人形浄瑠璃芝居保存会奉納上演	8月 4日(金) 5日(土)
◎第24回吹奏楽の夕べ	8月25日(金)
◎光市民ミュージカル	8月27日(日)
◎光市老人クラブ連合会文化祭	10月25日(水)
◎J. Fellow ダンス発表会	2月11日(日)
◎第7回なぎさ復活コンサート	3月11日(日)
イ 学校等の文化活動	
◎第36回附中祭	9月 8日(金)
◎浅江中学校合唱祭	10月21日(土)
◎光市小中学校音楽会	11月 2日(木)
◎キッズフェスタ(虹ヶ丘幼児学園発表会)	11月25日(土)
◎光丘高校吹奏楽部定期演奏会	12月23日(日)
◎光高校吹奏楽部スプリングコンサート	3月17日(土)
ウ 芸能祭	
「第13回文化祭・芸能祭」	
◎創作舞踊	9月24日(日)
◎歌謡	10月 8日(日)
◎邦楽	10月29日(日)
◎謡曲	11月 3日(祝)
◎吟剣詩舞	11月 5日(日)
◎合唱	11月12日(日)
◎舞踊	11月19日(日)
◎ピアノ	12月24日(日)
エ その他(光市、光市教育委員会の事業)	
◎光市「雇用の日」メッセージフェア	5月30日(火)
◎教育フォーラム	8月23日(水)
◎光市子ども会大会	8月26日(土)
◎光まつり	10月 1日(日)
◎光市人権を考える集い	12月17日(日)
◎光市成人のつどい	1月 6日(土)
◎光市女性のつどい	1月13日(土)
◎光市青少年健全育成推進大会	2月24日(土)

3 光ふるさと郷土館

港町室積の商家の建物を活かし、室積地区を中心としたふるさとの歴史や文化の発掘、資料の収集・展示を行い、それを観光資源として活用しながら、地域文化の創造・発表の場として事業を実施した。

(1) 常設展示

<本館>

ア 商家の帳場

醤油の醸造及び販売をしていた商家「磯民」の帳場を再現し、結界、帳簿類、金箱、帳場の格子、箱階段、版木、賞状などを展示

イ 醤油醸造資料展示室

麹室、釜場、煙突などの醤油醸造施設と樽、桶などをジオラマ展示

ウ 廻船と漁業資料

かつての港町と漁業で繁栄した町の姿を伝える資料を展示

廻船資料 — 弁財船模型、船箆筒、鑑札、船絵馬、遠眼鏡など

廻船業資料 — 引札、売買仕切書、往来手形、尼崎汽船の切符など

菽藩撫育方会所資料 — 金箱、提灯箱、鬼瓦など

漁業資料 — 打瀬船模型、鰯網船模型、伝馬船、箱眼鏡、延縄など

室積台場関連資料 — 大砲の台座

早長八幡宮祭礼資料 — 山車、提灯、法被、山車写真など

エ 海商通りの鬼瓦

オ 種田山頭火と室積

<別館>

木造2階建ての廻船問屋で、港町室積の繁栄を偲ばせる歴史的建造物（国の登録有形文化財）として紹介していたが、平成29年9月18日をもって閉館。

(2) 常設企画事業

ア 弦楽器とピアノによるアンサンブル・コンサート

開催日時 9月3日（日）14時～15時

入館者 142人

内容 若杉まりさん(ヴァイオリン)、谷村愛美さん(ヴァイオリン)、古米佐智子さん(ピアノ)三人による演奏。



イ 10月21日(土)実施予定の秋の夜長と邦楽の夕べは台風28号の影響で中止。

ウ Christmas音楽会in醤油蔵2017 ♪ たてよこ笛の調べ ♪

開催日時 12月10日（日）14時～15時30分

入館者 59人

内 容 三浦正文、松村寧さん二人によるしの笛の演奏と、大木博之さんによる三線の演奏で、沖縄民謡やコンドルは飛んでいく、きよしこの夜などのクリスマス音楽を演奏した。

(3) ギャラリー展示

No	タイトル	展 示 者	期 間	入館者 (人)
1	彫刻展「仏像と小鳥」	水野 正義	4月11日(火) ～ 4月29日(土)	249
2	古着で作る掛軸展 「日本の四季」	吉村 博子 森下佳代子	5月 9日(火) ～ 5月21日(日)	410
3	姉・弟二人展「陶と書」	浅村 秋江 竹重 秀治	6月 7日(水) ～ 6月25日(日)	404
4	室積の風景(写真展)	國弘 昌之	7月11日(火) ～ 7月29日(土)	114
5	船の模型・竹細工展	相本 賢次 藤澤 豊・古谷 恵	8月 8日(火) ～ 8月27日(日)	269
6	ごみの中から出て来た宝物	杉岡 道生	9月 7日(木) ～ 9月18日(祝)	37
7	室積秋まつり展	光市室積山車保存会 (会長 小西義人)	9月26日(火) ～10月 9日(祝)	50
8	ちよつと昔の物語(Ⅱ) ～懐かしい昭和のくらし～	岡村 晃治	10月18日(水) ～11月 4日(土)	221
9	押し花でつづる歳時記	押し花サークル花織絵 (池田聰子)	11月14日(火) ～11月30日(木)	42
10	光市の今と昔の写真展	光ふるさと郷土館	12月 9日(土) ～12月24日(日)	105
11	光市福祉作業所作品展 (障害者の自立を促す作品づくり)	光市心身障害者 福祉作業所つつじ園	1月12日(金) ～ 1月31日(水)	162
12	二所神社窯に集う五人展	石村正彦、竹重秀治 玖村淳子、浅原房子 田中裕美恵	2月 7日(水) ～ 2月24日(土)	247
13	ひねり人形展	光ふるさと郷土館 光丘高校	3月 7日(水) ～ 3月24日(土)	109

計2,419人

(4) 教育普及活動

ア 体験教室・講座の開催

(ア) 竹プランター作り教室

開催日時 5月21日(日) 10時～12時・13時～15時
参加者 9人 (職員指導)

(イ) 押し花絵教室

開催日時 6月11日(日) 10時～12時・13時～15時
参加者 10人
講師 押し花サークル花織絵

(ウ) 親子で作る夏休み竹細工教室

開催日時 7月30日(日) 10時～12時・13時～15時
参加者 18人(8組)
講師 相本賢次

(エ) 親子でつくる水鉄砲・竹とんぼ教室

開催日時 8月11日(祝・金)～13日(日) 夏休み期間中の3日間
10時～12時・13時～15時
参加者 72人 (職員指導)

(オ) 古着で作るはがき掛教室

開催日時 9月24日(日) 9時～12時・13時～16時
参加者 12人
講師 吉村博子

(カ) ミニ門松づくり

開催日時 12月24日(日) 10時～12時・13時～15時
参加者 20人 (職員指導)

イ 歴史講座

(ア) 「伊予河野氏の盛衰」

開催日時 7月23日(日) 10時～12時
参加者 30人
講師 植村芳弘(光地方史研究会 会長)

(イ) 「防長回天史27章に見る第二奇兵隊」

開催日時 11月5日(日) 10時～12時
参加者 28人
講師 重國俊夫(光地方史研究会 会員)

ウ 古文書教室

開催日時 毎月第2・4火曜日 10時～12時
会員数 15人
内容 地元に残っている古文書の解説・研究・発表

エ 小中学生の総合学習や社会見学への対応

周南市立高水・秋月小3年81人、附属小2・3年81人及び市内の周防・上

島田・光井・浅江・岩田・塩田・東荷・島田・室積小9校の3年生計342人
室積中学校10人、松原保育園42人の合計556人

(5) イベント等の開催

ア 郷土館端午の節句

開催期間 4月11日(火)～5月6日(土)

内 容 寄贈を受けた五月人形を休憩室に展示し、中庭にこいのぼりを泳がせた。

イ 普賢まつりの開館時間延長と入館無料

開催日時 5月14日(日) 19時まで延長

入館者 383人

開催日時 5月15日(月) 17時

入館者 129人 (合計512人)

ウ 五感で感じる郷土の夏

開催期間 7月1日(土)～8月31日(木)

内 容 海商通りの軒先に朝顔のグリーンカーテンと風鈴を吊るす。



エ ホオジロザメの口蓋骨展示(山口県漁業協同組合光支店より借用)

展示期間 7月22日(土)～8月27日(日)

オ 早長八幡宮秋まつり開館時間延長と入館無料

開催日時 10月8日(日) 19時まで延長

入館者 152人

カ 郷土館のひなまつり

開催期間 2月4日(日)～3月15日(木)

内 容 明治・大正・昭和を彩ったお雛様を第1展示室や休憩室に郷土館らしい竹を使ったひとひねりある展示や、奥の醤油蔵で船筆筒をひな壇として使った展示等をした。

キ 生花ミニ展示

展示期間 5月13日(土)～、10月19日(木)～

内 容 池坊「二人静の会」の好意により第1展示室や休憩室に本格的な生花を展示。

(6) 利用状況

入館者数 5, 438人(施設利用含む)

施設利用(貸部屋) 本館7件・32人、別館3件・8人

※別館は9月18日閉館

事業報告の附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書に記載する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。